

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業について

1 概要

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、国の第3次補正予算により措置される「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、顕在化した課題等に対応するための事業について、第2回定例会に補正予算案として提案するものであります。

2 交付金の使途

地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかに実施する

- ① 家賃支援を含む事業継続や雇用維持等への対応
- ② 「新しい生活様式」等への対応 の事業に充当

3 交付金の活用状況

配分予定額 : 138,110 千円

6月補正事業 : 39,384 千円

各事業については、別紙

交付金残金 138,110 千円 - 39,384 千円 = 98,726 千円

※ 残金の使途は、新型コロナウイルス感染症の状況等をふまえて、引き続き検討してまいります。

4 今後の交付金スケジュール

- 7月 実施計画の提出
- 9月 交付決定
- 冬頃 実施計画の提出
- 〃 交付決定

問い合わせ先
阿見町役場町長公室政策企画課
電話：029-888-1111
FAX：029-887-9560
※事業の詳細については各課へ直接お問い合わせください。

『新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金』を活用した 阿見町独自の取り組み（6月定例会分） **総事業費：39,384千円（全て臨時交付金を充当）**

公共施設等における感染症対策

☆公共的空間安全・安心確保事業（6,422千円）【管財課・上下水道課】

不特定多数の来庁者が見込まれる公共施設に、タブレット型サーマルカメラを設置します。【管財課】（6,205千円）

対象施設…庁舎、うずら出張所、総合保健福祉会館、福祉センターまほろば、二区児童館、学校区児童館、中央公民館、町民体育館、舟島ふれあいセンター、本郷ふれあいセンター、かすみ公民館、君原公民館、吉原交流センター、予科練平和記念館、図書館、運動公園クラブハウス、各小学校区児童クラブ7施設
合計23施設（入口につき1台で合計30台）

水道事務所に、タブレット型サーマルカメラを設置するとともに、不足が見込まれる手指消毒液等の消耗品を購入します。【上下水道課】（217千円）

☆町立小中学校サーマルカメラ設置事業（1,909千円）【学校教育課】

各小中学校の来校者用入口に、タブレット型サーマルカメラを設置します。
対象施設…町内小中学校10校（各校1台で合計10台）

☆福祉センターまほろば運営事業（187千円）【高齢福祉課】

福祉センターまほろばに、不足が見込まれる手指消毒液等を購入し、来館者が安心して利用できる環境を整えます。

☆障害福祉事務事業（167千円）【社会福祉課】

新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者となった障害者の支援時における、ガウンや手袋等の消耗品を購入します。

☆図書館運営事業（101千円）【図書館】

町立図書館の、閲覧コーナー等の机上に設置するパーテーション及びビニールシートスタンドを購入し、安心して利用できる環境を整えます。

子育て世帯の皆さまへ

☆町立小学校電子黒板設置事業（28,589千円）【学校教育課】

文部科学省が掲げるGIGAスクール構想の実現に向けて、更なるICTを活用した授業（デジタル教材の活用等）を実現するために、電子黒板を設置します。
対象施設…町内小学校6校（各小学校の普通教室、特別支援教室で合計99台）

町民の皆さまへ

☆あみメール登録促進キャンペーン事業（1,215千円）【秘書広聴課】

新型コロナウイルス感染症関連情報や防災情報など、町が発信する情報をいち早くより確実に届けるため、町のメール配信サービス『あみメール』への登録を促すキャンペーンを実施します。

☆大学生等応援事業（524千円）【政策企画課】

町内で一人暮らしをしている大学生及び専門学校生を応援するため、一人あたり10食分の阿見町産パックご飯を贈呈します。

対象者…町内に立地する茨城大学農学部、茨城県立医療大学、東京医科大学霞ヶ浦看護専門学校に在学する 約600名



※事業の詳細につきましては、各担当課へお問い合わせください。
阿見町役場 〈電話〉029-888-1111（代表）